

状況に関係のない発言をする 子どもへの理解と支援



「LD・ADHD・高機能自閉症の
子どもの指導ガイド(2005)」より



せ、先生
今日は同じ服を
着てますね！



たかしくんの行動

- ◆ 頭に浮かんだことをつい口にする。
- ◆ 何度も同じことを繰り返して確認する。



- ◆ 授業や学習活動を中断させる。
- ◆ 先生や友達を怒らせたり、傷つけたりする。

状況に関係のない発言をするのは なぜ？



推測されるつまずきの要因

- ① あいまいな状況や表現を理解することが難しい。
- ② 他者の気持ちを理解することが難しい。
- ③ 注意の切り替えやコントロールが難しい。

実態把握

- ① 振る舞い方を知らないのか、あるいは、知っているけれどできないのか？
- ② 子どもがうまく行動できる条件(環境)は？
(子どもが理解しやすい指示や伝え方は？)

考えられる指導は？



先生が実施した指導

- ① 伝えるときはできるだけ具体的な言葉で話す。
- ② 活動全体の流れや現在の活動や話題が何かを文字あるいは絵で提示する。
- ③ 話をした後にときどき個別に話の内容や状況を確認する。
- ④ 相手を傷つける発言をしたときは後で話を聞き、相手の気持ちについて考える。

指導のポイント①

伝えるときはできるだけ
具体的な言葉で話す。

(例) 曖昧な言葉 「筆記用具を片付けなさい」

具体的な言葉 「鉛筆と消しゴムを
筆箱にいれなさい」



何をするのがわかりやすくなる。

指導のポイント②

活動全体の流れや現在の活動や話題が何かを文字あるいは絵で提示する。



今行っていることと、次に行く活動を理解することができ、見通しをもって活動することが可能になる。

子どもの得意なやり方で情報を提示する。

指導のポイント③

話をした後にときどき個別に話の内容や状況を確認する。



個別に確認したり、説明したりすることで、理解を促すと同時に、誤った理解を修正することができる。

指導のポイント④

相手を傷つける発言をしたときは後で話を聞き、相手の気持ちについて考える。



このような機会をもつことで、状況に応じた振る舞い方や言い方を教えることができる。

高機能自閉症・アスペルガー障害



よい個に応じた指導

- ◆ 振る舞うためのスキルと同時に、他者の気持ちや状況を理解するためのスキルを学習する社会的スキルの指導
 - a) 社会的な場面に関する漫画やお話を用いる方法
 - b) 実際の場面での振り返りによる方法
 - c) ビデオやロールプレイを用いる方法
 - d) コミック会話による方法

状況に関係のない発言をする 子どもの理解と支援

おわり

担当 玉木 宗久

「LD・ADHD・高機能自閉症の
子どもの指導ガイド(2005)」より